

◇ 日 本 史

日 4－1～日 4－14 まで 14 ページあります。

第 1 問 古代の日本について記した中国の歴史書に関して述べた次の文 A～E を読み、下の問い（問 1～12）に答えなさい。

- A 『漢書』地理志によると、「倭人」の社会は百余国に分かれ、（ア）に定期的に使者を送っていたことがわかる。
- B (1) この歴史書によると、(2) 讃・珍・済・興・武と記された倭の五王が相次いで中国の南朝に朝貢していたことがわかる。
- C この歴史書によると、倭国では大きな争乱が起こり、なかなか収まらなかったが、(3) 諸国が共同して邪馬台国の女王を立てたことで争乱が収まり、(4) 邪馬台国を中心とする小国連合が成立したことがわかる。
- D この歴史書によると、倭の奴国の使者が洛陽に赴き、(5) 光武帝から印綬を授けられたことがわかる。さらに(6) 安帝の永初元年にも倭国から朝貢がなされていたことも知られる。
- E 『隋書』倭国伝によると、600年の遣使に続けて(7) 607年にも遣使がなされた。この時の隋への国書は、中国皇帝に臣属しない形式を採っており、時の隋の皇帝（イ）から無礼とされたことがわかる。

問 1 文 A は、いつ頃のことと考えられるか。その時期として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- | | |
|-------------|-------------|
| ① 紀元前 3 世紀頃 | ② 紀元前 1 世紀頃 |
| ③ 紀元 2 世紀頃 | ④ 紀元 3 世紀頃 |

問 2 文 A の空欄（ア）に入る語句（郡名）として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| ① 伊都郡 | ② 葛野郡 | ③ 帯方郡 | ④ 楽浪郡 |
|-------|-------|-------|-------|

問3 文Bの下線部（1）の中国の歴史書として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 3

- | | |
|-----------|------------|
| ① 『魏志』倭人伝 | ② 『後漢書』東夷伝 |
| ③ 『善隣国宝記』 | ④ 『宋書』倭国伝 |

問4 文Bの下線部（2）に関連して、この倭の五王の興と武は、記紀にみられるそれぞれの天皇に該当すると考えられているか、最も適当なものを次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

解答番号 4

- | | |
|------------------|------------------|
| ① 興＝応神 武＝安康 | ② 興＝応神 武＝雄略 |
| ③ 興＝安康 武＝雄略 | ④ 興＝安康 武＝仁徳 |
| ⑤ 興＝雄略 武＝仁徳 | ⑥ 興＝雄略 武＝応神 |

問5 文Bの下線部（2）に関連して、倭の五王の武に当たると考えられる「ワカタケルの大王」という銘文を持つ鉄剣が出土した古墳とその所在地の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

解答番号 5

- | | |
|--------------|--------------|
| ① 稲荷山古墳：大阪府 | ② 稲荷山古墳：埼玉県 |
| ③ 江田船山古墳：埼玉県 | ④ 江田船山古墳：奈良県 |
| ⑤ 大仙陵古墳：大阪府 | ⑥ 大仙陵古墳：奈良県 |

問6 文Cの下線部（3）に関連して、この時に立てられた女王として最も適当な人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 6

- | | |
|-------------|---------|
| ① 壹与（壹与・台与） | ② 多利思比孤 |
| ③ 額田王 | ④ 卑弥呼 |

問7 文Cの下線部(4)に関連して、邪馬台国について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 7

- ① 共同して擁立された女王は、巫女的な力に長けていた。
- ② 共同して擁立された女王が死去した後は、その後ずっと男王によって統治された。
- ③ 邪馬台国では、大人と下戸などの身分差があった。
- ④ 邪馬台国では、ある程度の統治組織や租税・刑罰の制度も整っていた。

問8 文Dの下線部(5)に関連して、この光武帝から授かったと考えられる金印が江戸時代に発見されているが、その発見された場所は現在の何県にあるか。正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 8

- ① 岡山県 ② 島根県 ③ 長崎県 ④ 福岡県

問9 文Dの下線部(6)に関連して、この時の朝貢では「生口」が献じられたが、この「生口」が意味するものとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 9

- ① 絹布 ② 砂金 ③ 銅鏡 ④ 奴隸

問10 文Eの下線部(7)に関連して、遣隋使として派遣された留学生や留学僧には該当しない人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 10

- ① 吉備真備 ② 高向玄理 ③ 南淵請安 ④ 旻

問11 文Eの空欄(イ)に該当する隋の皇帝として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 11

- ① 好太王 ② 洪武帝 ③ 裴世清 ④ 煬帝

問12 文A～Eを古い順に並べた時、文Aが最も古く、文Eが最も新しくなるが、その二つの間に位置する文B～Dを正しい順番に並べ直すとするとどのような順となるか。古い順に並べた場合に正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

解答番号

12

- ① A → B → C → D → E
- ② A → B → D → C → E
- ③ A → C → B → D → E
- ④ A → C → D → B → E
- ⑤ A → D → B → C → E
- ⑥ A → D → C → B → E

第2問 室町時代の文化に関する次の文章を読み、下の問い（問1～12）に答えなさい。

南北朝時代には、時代の転換期によって高まった緊張感を背景に、(1) 歴史書や軍記物などが作られた。また、連歌が流行したり、喫茶の風習が広まり、茶寄合が各地で行われたりした。

(2) 南北朝の合体を実現した足利（ア）は京都北山に山荘を造り、そこに金閣を建てた。この時代の文化は、その北山山荘（北山殿）にちなんで北山文化と呼ばれる。北山文化の特徴は、(3) 東アジアとの交流を背景に伝統的な公家文化を採り入れながら、新しい武家文化が花開いたところにある。五山十刹の制がほぼ完成したのもこの時代である。(4) 五山の禅僧たちは、幕府の政治・外交の顧問として活躍しただけでなく、学問や文芸の中心的な担い手となり、水墨画や漢詩文にも業績を残した。また、古く神事芸能として出発した猿楽・田楽は、各地に座を作りながら芸術性を高め、（イ）父子によって、猿楽能が完成された。

その後、応仁の乱による京都の荒廃をよそに、足利（ウ）は京都東山に山荘を造り、そこに銀閣を建てた。この時代の文化は、その東山山荘にちなんで東山文化と呼ばれ、幽玄・侘を精神的な基調としていた。現在の和風住宅の原型となった（エ）の邸宅や（オ）の寺院には(5) 枯山水様式の庭が設けられた。新しい住宅様式の成立は、座敷の装飾を盛んにし、(6) 掛け軸や襖絵などの絵画、(7) 床の間を飾る生花や工芸品をさらに発展させた。そしてまた、民衆の地位が向上し、庶民が参加して楽しむ(8) 庶民芸能も広がった。

ところで、応仁の乱によって京都が荒廃すると、京都の公家は地方の戦国大名を頼り、地方へと下向して行った。地方の武士たちも中央の文化に対する憧れから彼らを歓迎したことから、(9) 地方の文化も興隆していった。

問1 下線部(1)に関連して、南北朝時代に作られた歴史書や軍記物に該当しないものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

13

① 『吾妻鏡』

② 『神皇正統記』

③ 『太平記』

④ 『梅松論』

問2 下線部（2）に関連して、この時、唯一の天皇となった北朝方の天皇を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 14

- ① 後亀山 ② 後小松 ③ 後醍醐 ④ 後陽成

問3 空欄（ア）（ウ）に入る室町幕府将軍の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

解答番号 15

- | | | | | | | | | | |
|---|---|----|---|----|---|---|----|---|----|
| ① | ア | 義政 | ウ | 義教 | ② | ア | 義政 | ウ | 義満 |
| ③ | ア | 義教 | ウ | 義政 | ④ | ア | 義教 | ウ | 義満 |
| ⑤ | ア | 義満 | ウ | 義政 | ⑥ | ア | 義満 | ウ | 義教 |

問4 下線部（3）に関連して、中国大陸に建国された明との間に国交を開くための使者が遣わされた年として正しい年（西暦）を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 16

- ① 1378年 ② 1392年 ③ 1401年 ④ 1429年

問5 下線部（4）に関連して、北山文化の時期に活躍した五山の禅僧には該当しない人物を次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 17

- ① 義堂周信 ② 春屋妙葩 ③ 絶海中津 ④ 無学祖元

問6 空欄（イ）に入る父子の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 18

- | | |
|-----------|-----------|
| ① 運慶・湛慶 | ② 狩野正信・元信 |
| ③ 観阿弥・世阿弥 | ④ 藤原隆信・信実 |

問7 空欄（エ）（オ）に入る用語の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

解答番号 19

- | | | | |
|----------|-------|----------|-------|
| ① エ 書院造 | オ 和様 | ② エ 書院造 | オ 禅宗様 |
| ③ エ 書院造 | オ 大仏様 | ④ エ 数寄屋造 | オ 和様 |
| ⑤ エ 数寄屋造 | オ 禅宗様 | ⑥ エ 数寄屋造 | オ 大仏様 |

問8 下線部（5）に関連して、枯山水様式の庭園として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 20

- | | |
|---------|------------|
| ① 桂離宮庭園 | ② 大徳寺大仙院庭園 |
| ③ 毛越寺庭園 | ④ 六義園 |

問9 下線部（6）に関連して、絵画作品とその作者の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 21

- | | |
|---------------------|--------------|
| ① 『天橋立図』：土佐光信 | ② 『寒山拾得図』：如拙 |
| ③ 『四季山水図巻（山水長巻）』：雪舟 | ④ 『瓢鮎図』：狩野探幽 |

問10 下線部（7）に関連して、その立花の様式を大成した人物として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 22

- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| ① 池坊専好 | ② 一条兼良 | ③ 千利休 | ④ 村田珠光 |
|--------|--------|-------|--------|

問11 下線部(8)に関連して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 23

X：能のあいだに演じられる狂言は、その題材を民衆の生活などに求め、せりふも日常の会話が用いられた。

Y：和歌を上句と下句に分け、人びとが次々と句を継いでいく連歌は、連歌師が各地を遍歴し普及に努めたので、地方でも流行した。

① X＝正 Y＝正

② X＝正 Y＝誤

③ X＝誤 Y＝正

④ X＝誤 Y＝誤

問12 下線部(9)に関連して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 24

① 大内氏の城下町山口には、文化人が多く集まった。

② 薩摩の島津氏は、桂庵玄樹を招いて儒学の講義を行った。

③ 関東では、足利成氏が足利学校を再興した。

④ 地方でも武士の子弟を寺院に預けて教育を受けさせる習慣ができていた。

第3問 江戸時代の外交に関する次の文A～Cを読み、下の問い（問1～12）に答えなさい。

A 1600年、オランダ船が豊後に漂着した。徳川家康は、その乗組員であったヤン＝ヨーステン（耶揚子）とイギリス人ウィリアム＝アダムズ（三浦按針）を外交・貿易の顧問とした。その後、オランダとイギリスは江戸幕府から貿易の許可をうけ、肥前の（ア）に商館を開いた。家康はさらに（1）琉球王国を介して明との国交回復を交渉したが、明から拒否された。家康は、スペインとの貿易にも積極的で、スペイン領ノビスパン（メキシコ）に（イ）を派遣した。一方、ポルトガル商人は、当時、マカオを根拠地に中国産の生糸を長崎に運んで巨利を得ていた。それに対して幕府は、（2）系割符制度を設けてポルトガル商人の利益独占を排除した。

問1 空欄（ア）に入る地名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

25

- ① 島原 ② 敦賀 ③ 名護屋 ④ 平戸

問2 下線部（1）に関連して、琉球王国の首都の外港であり貿易港、国際港として重要な役割を果たした港の地名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

26

- ① 外ヶ浜 ② 那覇 ③ 寧波 ④ 坊津

問3 空欄（イ）に入る人名として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

27

- ① 末次平蔵 ② 田中勝介 ③ 茶屋四郎次郎 ④ 支倉常長

問4 下線部（2）に関連して、この糸割符制度によって糸割符仲間を作った特定の商人たちは「五カ所商人」と呼ばれたが、その五カ所に含まれない都市を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

28

① 江戸

② 大坂

③ 堺

④ 博多

B 当初活発であった海外貿易も江戸幕府の体制が固まるにつれて、(3) 日本人の海外渡航や貿易にも制限が加えられていった。幕府は、特にキリスト教の布教と一体化させて貿易を展開する南蛮人を警戒し、1624年には(ウ)船の来航を禁止する措置をとった。その後、1630年代に入ると、(エ)以外の日本船の海外渡航を禁止し、また、日本人の海外渡航と在外日本人の帰国も禁止した。1639年には(オ)船の来航を禁止した。そして1641年になると、オランダ商館を長崎の出島に移設し、以後、長崎がオランダ・中国を対象とする貿易港となった。こうして(4) 長崎は、西洋文化が流入する窓口となった。

問5 下線部(3)に関連して、アユタヤ朝の首都アユタヤの日本町の長で、後にリゴール(六昆)の太守となった人物として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 29

- ① 小西行長 ② 角倉了以 ③ 祖阿 ④ 山田長政

問6 空欄(ウ)(オ)に入る国名の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

解答番号 30

- ① ウ イギリス オ スペイン ② ウ イギリス オ ポルトガル
③ ウ スペイン オ イギリス ④ ウ スペイン オ ポルトガル
⑤ ウ ポルトガル オ イギリス ⑥ ウ ポルトガル オ スペイン

問7 空欄(エ)に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 31

- ① 勘合船 ② 北前船 ③ 朱印船 ④ 奉書船

問8 下線部（4）に関連して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号 32

X：幕府は、オランダ船が来港するたびにオランダ商館長が提出する「オランダ風説書」によって、海外の情報を得た。

Y：オランダ商館医であったシーボルトは、長崎郊外に芝蘭堂を開き、平賀源内や高野長英らの人材を育てた。

① X＝正 Y＝正

② X＝正 Y＝誤

③ X＝誤 Y＝正

④ X＝誤 Y＝誤

C 18世紀末になると、ロシアを中心とする外国からの危機への対応が幕府にとって大きな課題となっていた。1792年、ロシア使節（カ）が根室に来航し、漂流民を届けるとともに、通商を求めた。1804年には、その（カ）が持ち帰った入港証を持ってロシア使節（キ）が長崎に来港したが、幕府がそれを追い返したため、ロシア船が樺太や択捉島を攻撃した。この外国による攻撃の衝撃は大きく、幕府は対外防備を強化し、幕府は松前藩と蝦夷地全てを直轄地とした。そして（5）1808年には、（ク）に樺太とその対岸を調査させた。こうしたロシアとの関係は、（6）1811年のゴロウニン事件を機に改善し、1821年に幕府は蝦夷地を松前藩に還付している。その後もイギリス船やアメリカ船が日本近海に出没したため、幕府は大名に命じて全国各地に台場を設けて大砲を備えさせ、海岸防備に努めた。

問9 空欄（カ）（キ）に入るロシア使節の人名の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べなさい。

解答番号 33

- | | |
|------------|----------|
| ① カ プチャーチン | キ ラクスマン |
| ② カ プチャーチン | キ レザノフ |
| ③ カ ラクスマン | キ プチャーチン |
| ④ カ ラクスマン | キ レザノフ |
| ⑤ カ レザノフ | キ プチャーチン |
| ⑥ カ レザノフ | キ ラクスマン |

問10 下線部（5）に関連して、この年、イギリス軍艦がオランダ船を追って長崎に侵入、オランダ商館長を人質として、薪水・食料を強要しその後退去するという事件が起こっているが、この事件の名称となったイギリス軍艦の名前として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べなさい。

解答番号 34

- | | |
|------------|----------|
| ① サン＝フェリペ号 | ② フェートン号 |
| ③ モリソン号 | ④ リーフデ号 |

問11 空欄（ク）に入る人物として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 35

- ① 伊能忠敬 ② 近藤重蔵 ③ 間宮林蔵 ④ 最上徳内

問12 下線部（6）に関連して、ロシア側にいったん抑留された後、送還され、その後、日本側が拘留していたロシア軍艦の艦長ゴロウニンの解放に尽力した淡路出身の商人として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号 36

- ① 紀伊国屋文左衛門 ② 大黒屋光太夫
③ 高田屋嘉兵衛 ④ 蔦屋重三郎